

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 6 月 12 日現在

機関番号：24403

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17H02430

研究課題名(和文) 場所・物質・人の関係性に注目した知の形成に関する地理学史研究

研究課題名(英文) Study on history of geography concerning the formation of knowledge focusing on the relationships between place, materiality and people

研究代表者

福田 珠己 (Fukuda, Tamami)

大阪府立大学・人間社会システム科学研究科・教授

研究者番号：80285311

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,700,000円

研究成果の概要(和文)：近年の地理学史研究の潮流を鑑み、社会的経験および個人的経験と地理学知の形成・流通・実践について、アカデミズムの枠に捉われない広範な視点から検討した。その際、文化・社会・政治・歴史地理学の理論や方法論に関する議論をふまえ、場所・物質・身体が関係しあうプロセスに重点をおいた地理思想の考察について重点的に行った。また、本研究はそれ自体、過去から未来へと続く「地理思想」の流れの中に位置づけられものである。新たな成果を公開するだけでなく、1978年にはじまり本研究へと継続している地理思想史に関する研究成果についてオンラインアクセスを可能とするなど、地理学史研究のための基盤整備にも努めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

学術的意義としては、文化地理学、政治地理学、歴史地理学などさまざまなサブディシプリンにおいて個々の研究者が行ってきた地理学的知の形成・実践に関する研究を、地理思想の歴史という軸を中心に統合的に検討し理論化をはかるという点をあげることができる。また、地理的な思考が不可欠な現代社会において、その基礎となる地理思想の探求は重要なことであり、オンライン雑誌の発行などを通して、成果を公表し続けたことは、本研究の特長でもある。

研究成果の概要(英文)：Following the recent studies on history of geography, we have examined the social and personal experience, and the formation, distribution, and practices of geographic knowledge from a broad perspective that is not bound by academia. At that time, based on discussions on theories and methodologies of culture, society, politics, and historical geography, we focused on consideration of geographic thought, which emphasized the processes in which place, materiality and body are related. Moreover, this research itself is positioned in the flow of "geographical thought" that continues from the past to the future. In addition to publishing new results, we also sought to establish a foundation for research on history of geography by enabling online access to previous works regarding the history of geographic thought that began in 1978.

研究分野：文化地理学

キーワード：地理思想 地理学史 文化地理学 社会地理学 物質性 場所 身体

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

地理学史研究をめぐる当初の状況として次の2点を重要視し、本プロジェクトを立ち上げた。

(1) 地理思想の歴史は、社会と密接にかかわるものとして語られ解釈されるようになっていた。すなわち、社会的諸実践の中で地理学的知が形成される際の複雑な関係性への注目の度合いが高まってきていた。The Geographical Tradition(1992) や『科学の地理学』(2014、原著2003)の著者デイヴィッド・リヴィングストンの研究は、このような動向にとって大きな契機となるものである。地理学知の枠組みを自明視するのではなく、アカデミズム・官公庁・民間にまたがって、国家や社会の多様な運動との関係の中で何が地理学知として形成されるにいたったのか問い直し、さらには、学知が発生し流通する際に場所や空間が問題となることを探求したのである。また、このような研究視角が地理学史研究の中だけで完結するものでない、ということも研究当初の状況として認識していた点である。さらに、研究の対象を思想やその結果である文章テキストや地図など表象に限定することなく、地理学的知識の発生・流通にかかわる物質や身体にも留意し科学知識を捉えなおそうという視角は、文化地理学を中心としたマテリアリティをめぐる議論と関わりあうものであり、本研究課題が注目した研究状況でもある。

(2) 地理思想の歴史叙述において、個人の経験に根ざしたオーラルヒストリーが以前にも増して重要な位置を占めるようになっていた。例えば、1970年代後半から1980年代にかけて、アン・パティマーが中心となって行ったインタビュー・シリーズ Dialogue Project は、数年前からIGU YouTube Channel で配信され、アクセス数も多い。このことは、学史上の資料としての価値が見出されただけでなく、地理学史叙述における対話の持つ力が評価されていることを如実に示している。一方、AAG Chicago 2015においてフェミニスト地理学者たちが組織化したパネルディスカッション Feminists on the Frontlines も、音声による記録が Gender, Place and Culture 誌ウェブページに公開されている。パネリストたちは、互いにやりとりする形で、個人の経験や地理学界におけるフェミニストとしての歩み、未来への展望を語っているのである。このように、地理学史研究においても、個人の経験や対話を通して引き出される地理学的営みや思想の歴史が注目されている。本研究課題が重視した二つ目の学的背景である。

2. 研究の目的

研究開始時に設定した本課題の目的は、次の2つに大別できる。1つは、場所・物質・人(身体)が関係しあうプロセスに注目して、地理的知の形成・流通について、近年の文化・社会・政治地理学の理論的枠組みを用いて明らかにすることである。まず、個人的経験・身体・語り、表象・物質性、オルタナティブな社会運動と、重点の置き方を異にした視角から、個別の事例に則して検討する。その結果を個々に発表するだけでなく、地理学知の形成・流通・具体化という点に収斂してさらなる考察を進め、地理学史研究、地理思想史研究の一翼を担うことをめざす。

もう1つは、個人の経験や語りから編まれる地理学史研究のためのアーカイブ確立である。具体的な事例研究から何かを明らかにするためのものではなく、対話という形式を最大限生かした地理学研究者のライフヒストリーを記録し、グローバルな研究者ネットワークのなかでアーカイブ化をはかるといふものである。今回の研究期間の間だけでなく、今後も継続できるような形を提案し引き継いでいくことをめざすものである。

3. 研究の方法

地理学史に関するこれまでの共同研究の実績を踏まえ、3つの研究チーム(「身体・語り・思想系研究」「物質・空間系研究」「社会・実践系研究」)に、場所・物質・人(身体)が関係しあうプロセスに注目して、地理的知の形成・流通について、事例に即した研究を行った。その成果はチーム内で検討し論点の洗い出しを行い、さらに、全体での定例研究会や国際学会での発表・討議を通して、広い視野から学術的意義を明確にした。

4. 研究成果

(1) 身体・語り・思想系研究に関して、次の成果を得た。

語られた/描かれた表現をもとに、女性と地理的知の形成について考察した。英国人女性画家の描いた戦時のガーデニングと地理的知の形成についてジェンダーの視点から明らかにし、また、ハワイへの移民女性についてはインタビュー調査を通して、場所アイデンティティの確立について知見を得た。

ホームの意味、ホームにおける諸経験について、身体経験や語りを重視する先行研究の整理・分析を通して、セクシュアリティにかかわるホームの地理的研究を展望し、可能性を提示した。

人間の基本的な身体行為に着目した研究を実施した。「食す」という身体行為については、食べる「身体」という視点から近年の「和食」遺産化の社会現象を批判的に読み解き、胃袋の地理学を論じ、「排泄する」という身体行為については、尿尿問題から近代日本社会における都市・農村の関係について明らかにした。

松山棟庵訳述『地学事始』の検討、地理学者が語る地理学者としての経験についての探求、文人ネットワークから近世後期の地誌編成を考察するなど、研究者個人に着目した地理的知の形成史についての研究成果を得た。

二人の地理学者にインタビュー調査を行い、アカデミズムの中だけでなく、個人的経験を等閑視しない語りによる地理学史研究を試みた。この点については、本研究期間内では、聞き取りデ

ータのテキスト化、および、その結果をメンバー間で共有・議論するにとどまっている。公開・アーカイブ化については今後の課題とする。

(2) 物質・空間系研究に関して、次の成果を得た。

戦後日本社会における「ホーム」なる場所に関する史資料の分析を行い、アメリカ的なライフスタイルへの称賛、「豊かさ幻想」について、物質・表象両側面から明らかにした。

近年の視覚文化研究の方法論を踏まえ、絵図、写真など視覚イメージに関する歴史地理学的研究を実施した。また、その成果は、学術論文や口頭発表だけでなく、博物館展示とのリンクする形で公表した。

スマート・シティに代表されるような現代社会の地理的現象を踏まえ、人と物とのデジタルな、しかし、人間の身体を無しにはできない関係について理論化をすすめた。

地中海・ランペトゥーサ島の「船の墓場」について、物質性と身体、モビリティの点から考察し、移民研究の新たな展望を得た。

(3) 社会・実践系研究に関して、次の成果を得た。

国内外の事例から都市への権利をめぐる抵抗運動について分析し、オルタナティブな思想を提示した。

オリンピックに代表されるメガイベントを契機に世界で起きていることを、「プラネタリー・ジェントリフィケーション」という概念で捉えなおした。このことは、都市空間を考える新たな視点を提示することにもなる。

環境権と生存権をめぐる社会運動について、沖縄、水俣、台湾の事例を通して論じた。そこで提示されたのは、身体と生政治についての知見であり、また、運動そのものだけでなく、個人の経験や行為に根差した知の形成である。

(4) 以上の成果の一部は、英文報告書にまとめるほか() 複数のメンバーがかかわる事典編纂にも生かされ() また、研究会を共催することによって() 公表してきた。

Tamami FUKUDA ed. 2020. Materiality, People's Experience and Making Geographical Knowledge (Japanese Contribution to the History of Geographical Thought 12), Osaka Prefecture University & Osaka City University, 103p.

『現代地政学事典』編集委員会.2020. 『現代地政学事典』丸善出版, 888p.

人文地理学会第131回地理思想研究部会・第153回歴史地理研究部会「佛大本洛中洛外図の空間を読み解く」(佛教大学宗教文化ミュージアム, 2018年12月1日) 同第135回地理思想研究部会「都市革命再訪 第四次産業革命の言説のポスト領域主義的批判」(明治大学, 2019年12月7日)

(5) 上記英文報告書 Japanese Contribution to the History of Geographical Thought は1980年から発行されている。それらのリポジトリ化を図り、オンラインアクセスが可能にした。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計64件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 38件）

1. 著者名 荒又美陽	4. 巻 71
2. 論文標題 学会展望：学史・方法論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 250-253
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.4200/jjhg.71.03_245	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 ARAMATA Miyo	4. 巻 12
2. 論文標題 Representation and Urban Planning: Conservation of the Historic District and Social Exclusion in the Marais, Paris	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Contributions to the History of Geographical Thought	6. 最初と最後の頁 59-67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 荒又美陽	4. 巻 23
2. 論文標題 ベルク、オギュスタン「北海道のイメージ」（翻訳）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 103-121
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 遠城明雄	4. 巻 23
2. 論文標題 尿尿問題からみた都市-農村関係の変容 1920年代から1930年代の広島市を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 37-52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 ONJO Akio	4. 巻 12
2. 論文標題 The Politics of Human Excreta Urban-Rural Metabolic Rift in Modern Japan, 1920	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Contributions to the History of Geographical Thought	6. 最初と最後の頁 29-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koji Nakashima	4. 巻 12
2. 論文標題 The development of resident movements of the Ryukyu Arc during the 1970s and 1980s: the rise of new regional identities and aspirations for independence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Contributions to the History of Geographical Thought	6. 最初と最後の頁 43-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 島津俊之	4. 巻 71
2. 論文標題 学界展望 総説	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 246-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4200/jjhg.71.03_245	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大城直樹	4. 巻 66
2. 論文標題 東京オリンピック1964と2020 都市 (再) 開発の様相に関するメモランダム	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OSHIRO Naoki	4. 巻 12
2. 論文標題 Okinawan Hawai'ian Immigrant Women and Places for Constructing Identity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Contributions to the History of Geographical Thought	6. 最初と最後の頁 5-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 FUKUDA Tamami	4. 巻 12
2. 論文標題 The Visceral Food Geographies of Washoku: Re-evaluation of Washoku and the National Geographical Imagination	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Contributions to the History of Geographical Thought	6. 最初と最後の頁 17-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 網島聖	4. 巻 23
2. 論文標題 地理学史資料としての地形図 京都大学総合博物館地理作業室収蔵・梅原末治寄贈地形図の検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 13-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橘セツ	4. 巻 23
2. 論文標題 英国東部サフォーク州オーフォード・ネスにみる20世紀軍事景観の遺産化と自然化をめぐる文化地理学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 53-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原口剛	4. 巻 10月号
2. 論文標題 ジェントリフィケーションの暴力を直視せよ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 建築雑誌	6. 最初と最後の頁 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 MIZUUCHI Toshio	4. 巻 12
2. 論文標題 Development of Social Inclusion in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Contributions to the History of Geographical Thought	6. 最初と最後の頁 69-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福田珠己	4. 巻 70
2. 論文標題 学界展望 文化地理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 371-374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠城明雄	4. 巻 156
2. 論文標題 一九一三年下関市の騒擾について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史淵	6. 最初と最後の頁 43-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 遠城明雄	4. 巻 70
2. 論文標題 書評 「ミシェル・リュソ 著：超 場所 世界化の新たな地理」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊地理学	6. 最初と最後の頁 28 - 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 荒又美陽・大城直樹・山口晋・小泉諒・杉山和明	4. 巻 13
2. 論文標題 東京オリンピックに向けて考える グローバル化、都市・地域開発、セキュリティ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 E-journal GEO	6. 最初と最後の頁 273-295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 荒又美陽	4. 巻 ND
2. 論文標題 ジェントリフィケーションをめぐるプラネタリーな想像力	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 10+1ウェブサイト http://10plus1.jp/monthly/2018/11/issue-02.php	6. 最初と最後の頁 ND
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 荒又美陽	4. 巻 166
2. 論文標題 パリのリスケーリングとメガイベント グローバル化・脱工業化をめぐる都市計画とその課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 駿台史学	6. 最初と最後の頁 71-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒又美陽	4. 巻 22
2. 論文標題 特集 ブラネタリー・ジェントリフィケーションをめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 125-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 荒又美陽・仙人波希望 訳	4. 巻 22
2. 論文標題 シン・ヒュンバン「ブラネタリー・ジェントリフィケーション それは何であり、何が問題なのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 127-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴田陽一	4. 巻 26
2. 論文標題 戦後の小牧実繁とその地政学観	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 摂大人文学	6. 最初と最後の頁 71-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴田陽一	4. 巻 22
2. 論文標題 日本における訳語「地政学」の定着過程に関する試論・補遺	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 17-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 網島聖	4. 巻 15
2. 論文標題 近世後期の地誌編纂と地域文人ネットワーク：『善光寺道名所図会』の分析を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長谷川奨悟・網島聖	4. 巻 15
2. 論文標題 視覚イメージから見た佛大本洛中洛外図屏風	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要	6. 最初と最後の頁 27-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 麻生将・長谷川奨悟・網島聖	4. 巻 22
2. 論文標題 人文地理学研究における視覚資料利用の基礎的研究 絵画・写真の構図に着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 77-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 東京地学協会日本地学史編纂委員会 (黒田和男・加藤茂生・加藤茂・島津俊之・須貝俊彦・谷本勉・矢島道子・山田俊弘・八耳俊文)	4. 巻 127
2. 論文標題 戦後日本の地学 (昭和20年~昭和40年) その6 「日本地学史」稿抄	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地学雑誌	6. 最初と最後の頁 835~860
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.5026/jgeography.127.835	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 源昌久	4. 巻 22
2. 論文標題 松山棟庵訳述『地学事始』に関する一考察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 3-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高木彰彦 訳	4. 巻 22
2. 論文標題 クリスティアン・W・シュバング「カール・ハウスホーファーとドイツの地政学」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 29-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中島弘二	4. 巻 22
2. 論文標題 水俣病、生政治、身体 石牟礼道子と緒方正人を手がかりに	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 63-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原口剛	4. 巻 10分ほど
2. 論文標題 労働者の像から都市の記述へ 酒井隆史氏の書評への応答, 白波瀬達也「貧困と地域」への問い	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 理論と動態	6. 最初と最後の頁 104-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原口剛	4. 巻 22
2. 論文標題 プラネタリー・ジェントリフィケーションについてのノート	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 157-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橘セツ	4. 巻 20
2. 論文標題 英国サフォーク州サットン・フーをめぐる景観管理の文化地理学：1990年代以降のナショナル・トラストによる文化遺産展示の思想と実践	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 神戸山手大学紀要	6. 最初と最後の頁 29-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 水内俊雄	4. 巻 17
2. 論文標題 地力と磁力を活かしたまちづくりとサービスハブ 大阪市西成区北東部を例にして	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 グローバル都市大阪の分極化の新たな位相 (大阪市立大学都市研究プラザ URP「先端的都市研究」シリーズ)	6. 最初と最後の頁 25-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiener Johannes、Kornatowski Geerhardt、Mizuuchi Toshio	4. 巻 35
2. 論文標題 Innovations in Gearing the Housing Market to Welfare Recipients in Osaka's Inner City: A Resilient Strategy?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Housing, Theory and Society	6. 最初と最後の頁 1~22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14036096.2018.1481141	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水内俊雄	4. 巻 22
2. 論文標題 解題 「大西恒次、場末の映画館と芸人横丁 新世界・山王 」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 91-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 北川眞也	4. 巻 47 (5)
2. 論文標題 「ぼくたちはすべてがほしい」 オペライズモ的「移民」論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 124-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北川眞也	4. 巻 201811
2. 論文標題 「広範囲の都市化」が生みだす不均等な地理 後背地、 ロジスティクス、地域闘争	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 10+1 web site	6. 最初と最後の頁 n.d.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福田珠己	4. 巻 21
2. 論文標題 ホームの地理学とセクシュアリティの地理学が出会うとき 近年の研究動向に関する覚書	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 29-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 遠城明雄	4. 巻 70
2. 論文標題 (書評) Lussault, M. : Hyper-Lieux Les nouvelles geographie de la mondialisation . 2017.Seuil	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊地理学	6. 最初と最後の頁 20-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田陽一	4. 巻 45(18)
2. 論文標題 日本における訳語「地政学」の定着過程に関する試論	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 156-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橘セツ	4. 巻 19
2. 論文標題 英国人女性画家エブリン・ダンパーの描いた戦時のガーデニングとジェンダーをめぐる文化地理学	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 神戸山手大学紀要	6. 最初と最後の頁 49-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森正人	4. 巻 6(1)
2. 論文標題 スマートなるものと確率化される現実社会 人と物のデジタル的管理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 観光学評論	6. 最初と最後の頁 53-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中島弘二	4. 巻 72(3)
2. 論文標題 環境保全と「ワイズユース」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理科学	6. 最初と最後の頁 182-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原口剛	4. 巻 17
2. 論文標題 労働者の像から都市の記述へ 酒井隆史氏の書評への応答、白波瀬達也『貧困と地域』への問い	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 理論と動態	6. 最初と最後の頁 104-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原口剛・平田周	4. 巻 21
2. 論文標題 解題 ブラネタリー・アーバニゼーションをめぐる	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 95-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 アンディ・メリフィールド(小谷真千代・原口剛訳)	4. 巻 21
2. 論文標題 都市への権利とその彼方 ルフェーブルの再概念化に関するノート	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 107-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 水内俊雄	4. 巻 13
2. 論文標題 包容力ある都市論の構築 - 「ジェントリフィケーション」への新たなアプローチを中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大阪市立大学都市研究プラザブックレット	6. 最初と最後の頁 30-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水内俊雄	4. 巻 20 (2)
2. 論文標題 脱ホームレス支援が生み出す居住支援のかたちとユニークな地域再成の実践	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 56-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 アラン・ミュッセ (水内俊雄訳)	4. 巻 21
2. 論文標題 包摂からレジリエンスへ：公正な都市 just cityのための魔法の用語	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 53-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北川真也	4. 巻 6(1)
2. 論文標題 移民たちの船の物質性とモビリティ 地中海・ランペドゥーザ島の「船の墓場」からの問い	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 観光学評論	6. 最初と最後の頁 69-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北川眞也	4. 巻 21
2. 論文標題 解題 アンтониオ・ネグリの 大都市 論 コモンとして、すなわちコミュニズムとしての「都市への権利」は可能か？	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 空間・社会・地理思想	6. 最初と最後の頁 163-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 北川眞也	4. 巻 63 (3)
2. 論文標題 もっと地理的な批判地政学を求めて 地中海・ランペドゥーザ島から考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 54-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北川眞也	4. 巻 45 (1 8)
2. 論文標題 地図学的理性を超える地球の潜勢力 地政学を根源的に問題化するために	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 178-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 影山穂波	4. 巻 49
2. 論文標題 ハワイの桜と新一世の女性たち	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 椋山女学園大学研究論集	6. 最初と最後の頁 119-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高木彰彦	4. 巻 63(3)
2. 論文標題 地政学と政治地理学の関係を識る(特集 地政学を識る)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 12-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木彰彦	4. 巻 69(3)
2. 論文標題 学界展望(2016年1月-12月) - 政治・社会 -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 317-321
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木彰彦, 岡本耕平	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 地名標準化の現状と課題 - 地名委員会(仮称)の設置に向けて -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 E-journal GEO	6. 最初と最後の頁 143-146
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計52件(うち招待講演 7件/うち国際学会 26件)

1. 発表者名 ONJO Akio
2. 発表標題 Social Relations as Urban Infrastructure: Cholera Disease and Urban Society in Modern Japan
3. 学会等名 8th International Conference of Critical Geographers(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koji Nakashima
2. 発表標題 Development of residents' movements in Ryukyu Arc during the late 1970s and 1980s: the rise of new regional identities and aspirations for the independence
3. 学会等名 The 4th Workshop on the Geopolitical Economy of East Asian Developmentalism East Asian Regional Conference in Alternative Geography (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中島弘二
2. 発表標題 日出生台をめぐる軍事化と地域社会
3. 学会等名 第92回日本社会学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森正人
2. 発表標題 Gaia-Politics、集合体
3. 学会等名 2019年度人文地理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SHIMAZU, Toshiyuki
2. 発表標題 Exhibiting a liberal internationalism: Paul Otlet, Mundaneum and geography in early twentieth century Brussels
3. 学会等名 International Symposium on the History of Geographical Thought "Geographies of Identities and Imaginations" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SHIMAZU, Toshiyuki
2. 発表標題 Learning Mercator through Arrowsmith: The Earliest Printed Japanese World Map on the Mercator Projection
3. 学会等名 28th International Conference on the History of Cartography (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 FUKUDA Tamami
2. 発表標題 Re-evaluation of “washoku” and national geographical imagination
3. 学会等名 International Symposium on the History of Geographical Thought “Geographies of Identities and Imaginations” (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北川眞也
2. 発表標題 移動・避難の自律性 / 政治性を考えるために - 場所の開放性、境界の多数性、軌道空間の生産・領有、インフラ・ロジスティクス
3. 学会等名 第6回「移動と共生」研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原口剛
2. 発表標題 港湾労働者の労災職業病闘争と「空間の政治」 神戸港の「港湾病」認定闘争を事例として
3. 学会等名 日本地理学会 2020年春季学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 原口剛
2. 発表標題 マルクス主義とフェミニズムの接点 寄せ場・野宿の運動からの視角
3. 学会等名 日本地理学会2019年秋季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 FUKUDA, Tamami
2. 発表標題 Telling the history of geography from the invisible: Female geographers in non-English-speaking Japan
3. 学会等名 The International Geographical Union Regional Conference (Quebec) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 FUKUDA, Tamami
2. 発表標題 Women's body represented in Japanese urban landscape: consideration of visual images of "moe" characters for regional promotion
3. 学会等名 East Asian Regional Conference in Alternative Geography the 9th Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ONJO, Akio
2. 発表標題 Renkichi Kodera Evolution, Anarchism, and Social Geography
3. 学会等名 The International Geographical Union Regional Conference (Quebec) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ARAMATA, Miyo
2. 発表標題 The Changing of the Role of Mega-Events: Hosting the Olympics in London, Tokyo and Paris
3. 学会等名 The International Geographical Union Regional Conference (Quebec) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ARAMATA, Miyo
2. 発表標題 The Winter Olympics and the Rhetoric of Destroying Nature: Examples of Sapporo and Pyeongchang
3. 学会等名 East Asian Regional Conference in Alternative Geography the 9th Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ARAMATA, Miyo
2. 発表標題 Construction of the Main Stadium for the Second Tokyo Olympics : Implications and Issues
3. 学会等名 Workshop, City of Tomorrow; Urban Innovations and the Tokyo 2020 Games (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田陽一
2. 発表標題 日本地政学史素描
3. 学会等名 地質学史懇話会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴田陽一
2. 発表標題 帝国日本における地政学の受容と展開 科学性と実践性のはざままで [部会7 地政学の台頭? 国際政治学の視点から]
3. 学会等名 日本国際政治学会2018年度研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴田陽一
2. 発表標題 江澤謙爾の地政学に関する再検討
3. 学会等名 2018年人文地理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長谷川奨悟・網島聖
2. 発表標題 視覚イメージから見た洛中洛外図
3. 学会等名 人文地理学会第131回地理思想研究部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toshiyuki SHIMAZU
2. 発表標題 A Whole New Field of Chigaku: The Tokyo Geographical Society in a World History Perspective
3. 学会等名 The International Geographical Union Regional Conference (Quebec) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 OSHIRO Naoki
2. 発表標題 Two Olympics and urban redevelopment: 56 years in Tokyo
3. 学会等名 The International Geographical Union Regional Conference (Quebec) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Setsu Tachibana
2. 発表標題 A. Henry Savage Landor 's depiction of landscape in Obihiro, Hokkaido, Japan in 1890
3. 学会等名 The 17th International Conference of Historical Geographers (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeshi HARGUCHI
2. 発表標題 State-led Gentrification and Revanchism in the Olympic City: The case study of Tokyo
3. 学会等名 East Asian Regional Conference in Alternative Geography the 9th Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koji Nakashima
2. 発表標題 Struggle for life: Okinawan activist Seishin Asato 's environmentalism
3. 学会等名 The International Geographical Union Regional Conference (Quebec) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koji Nakashima
2. 発表標題 Knowledge and practices of the Japanese empire forestry: an overview of the research project
3. 学会等名 International Workshop "Empire Forestry Networks and Knowledge" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koji Nakashima
2. 発表標題 Thought of "right to life" in the anti-CTS movement and residents
3. 学会等名 East Asian Regional Conference in Alternative Geography the 9th Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中島弘二
2. 発表標題 「人新世」の時代における環境運動
3. 学会等名 日本地理学会2019年春季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toshio Mizuuchi
2. 発表標題 The housing safety as bulwark against gentrification in Japan's vulnerable inner cities
3. 学会等名 East Asian Regional Conference in Alternative Geography the 9th Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toshio Mizuuchi
2. 発表標題 "Inplacement"/"Redensification"; Alternative Forms of Land Revalorization in the Inner City of Osaka
3. 学会等名 Postgentrification or Urban Redevelopment on 'X' Continents WORKSHOP (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Toshio Mizuuchi
2. 発表標題 Site, Visit Briefing: Socil-Political Overview of Airin District, Site Visit: Nisinari District Walking Tour, Session 1:Overcoming Mistrust - Planning and Implementing Mechanisme for Inclusive Town Planning and Management, Session 2, Lessons Learnt for Improving Urban Amenities, Infrastructure and Land Use in Airin District
3. 学会等名 Technical IDeep Dive on Planning Safe, Inclusive and Resilient Cities (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北川真也
2. 発表標題 ミラノ、反万博、地域闘争、階級闘争
3. 学会等名 カルチュラル・タイフーン2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fukuda, Tamami
2. 発表標題 Privatization of an urban public space and a spectacular projection mapping show: The case of Osaka Castle Park in Japan
3. 学会等名 5th International Visual Methods Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福田珠己
2. 発表標題 プロジェクション・マッピングと公共空間の商品化
3. 学会等名 日本地理学会春季学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Onjo, Akio
2. 発表標題 After the Excitement of War : The situation of Sick and Wounded Soldiers (Invalids) in Japanese Modern Society
3. 学会等名 25th International Congress of History of Science and Technology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 遠城明雄
2. 発表標題 戦間期の地方都市における屎尿処理問題 呉市と佐世保市を事例として
3. 学会等名 人文地理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柴田陽一
2. 発表標題 歴史からみた現在の地政学ブーム(テーマ いまなぜ地政学が そして地理学はどう向き合えるのか)
3. 学会等名 人文地理学会第23回政治地理研究部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柴田陽一
2. 発表標題 日本における訳語「地政学」の定着過程
3. 学会等名 人文地理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大城直樹
2. 発表標題 「地域文化」の概念的検討と現象分析への展開
3. 学会等名 日本地理学会春季学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shimazu, Toshiyuki
2. 発表標題 Personified Continents in Public Places: Art, Internationalism and Geography in Late Nineteenth Century Paris
3. 学会等名 25th International Congress of History of Science and Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakashima, Koji
2. 発表標題 Locating tropical timber in the empire: the Forestry Research Institute of the Japanese Government-General of Taiwan and its researches
3. 学会等名 The Fourth Conference of East Asian Environmental History (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中島弘二
2. 発表標題 水俣病, 生政治, 身体 石牟礼道子と緒方正人を手がかりに
3. 学会等名 人文地理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中島弘二
2. 発表標題 松下竜一と安里清信の環境主義 - 環境権から生存権へ -
3. 学会等名 日本地理学会春季学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原口剛
2. 発表標題 都市空間の略奪をめぐる抗争 大阪のケース・スタディ (The Conflicts over Exploiting Urban Space: A Case Study in Osaka)
3. 学会等名 東京外国語大学大学院日本学研究・現代アフリカ地域研究センター共催シンポジウム「日本 アフリカ関係を通じたグローバル資本主義の批判的検討：土地、空間、近代性」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 水内俊雄
2. 発表標題 大阪における生活困窮の系譜と独特な地域再成の実態と課題
3. 学会等名 全国社会福祉協議会第 22 回 日本・韓国・台湾 民間社会福祉代表者会議 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mizuuchi, Toshio
2. 発表標題 Flexible Transition of tenement use for singletons in Osaka 's Hanazonocho Area
3. 学会等名 The 7th East Asia Inclusive City Network Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川眞也
2. 発表標題 移民たちの船の物質性とモビリティ 地中海・ランペドゥーザ島の「船の墓場」から考える
3. 学会等名 観光学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川眞也
2. 発表標題 いまなぜ地政学が そして地理学はどう向き合えるのか
3. 学会等名 人文地理学会政治地理研究部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川眞也
2. 発表標題 ヨーロッパ・地中海における移民と境界
3. 学会等名 法学研究所 第135回特別研究会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 マーク・ジェイン、ジル・バレンタイン、サラ・L・ホロウェイ、杉山 和明、二村 太郎、荒又 美陽、成瀬 厚	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 304
3. 書名 アルコールと酔っぱらいの地理学	

1. 著者名 『現代地政学事典』編集委員会	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 888
3. 書名 現代地政学事典	

1. 著者名 森正人	4. 発行年 2019年
2. 出版社 KADOKAWA	5. 総ページ数 302
3. 書名 豊かさ幻想 戦後日本の目指したもの	

1. 著者名 遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著 寺岡伸悟・山口誠・須永和博・森正人著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 288
3. 書名 現代観光学	

1. 著者名 デヴィッド・ハーヴェイ、大城直樹、遠城明雄	4. 発行年 2017年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 468
3. 書名 (翻訳) パリ・モダニティの首都 新装版	

1. 著者名 シルヴァン・アルマン、荒又美陽・立見淳哉	4. 発行年 2017年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 247
3. 書名 (翻訳) 私はどうして地理学者になったのか フランス地理学者からのメッセージ	

1. 著者名 森 正人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 KADOKAWA	5. 総ページ数 256
3. 書名 「親米」日本の誕生	

1. 著者名 網島 聖	4. 発行年 2017年
2. 出版社 京都大学総合博物館	5. 総ページ数 30
3. 書名 京都大学総合博物館平成29年度企画展 大地の形をつかむ	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	遠城 明雄 (Onjo Akio) (00243866)	九州大学・人文科学研究院・教授 (17102)	
研究分担者	大城 直樹 (Oshiro Naoki) (00274407)	明治大学・文学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	森 正人 (Mori Masato) (10372541)	三重大学・人文学部・教授 (14101)	
研究分担者	北川 眞也 (Kitagawa Shinya) (10515448)	三重大学・人文学部・准教授 (14101)	
研究分担者	原口 剛 (Haraguchi Tsuyoshi) (40464599)	神戸大学・人文学研究科・准教授 (14501)	
研究分担者	水内 俊雄 (Mizuuchi Toshio) (60181880)	大阪市立大学・都市研究プラザ・教授 (24402)	
研究分担者	島津 俊之 (Shimazu Toshiyuki) (60216075)	和歌山大学・教育学部・教授 (14701)	
研究分担者	荒又 美陽 (Aramata Miyo) (60409810)	明治大学・文学部・専任教授 (32682)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	柴田 陽一 (Shibata Yoichi) (60804044)	愛知県立大学・日本文化学部・准教授 (23901)	
研究分担者	橘 セツ (Tachibana Setsu) (70441409)	神戸山手大学・現代社会学部・教授 (34527)	
研究分担者	網島 聖 (Amijima Takashi) (70760130)	佛敎大学・歴史学部・講師 (34314)	
研究分担者	中島 弘二 (Nakashima koji) (90217703)	金沢大学・人間科学系・教授 (13301)	
研究協力者	山野 正彦 (Yamano Masahiko)		
研究協力者	源 昌久 (Minamoto Shokyu)		
研究協力者	高木 彰彦 (Takagi Akihiko)		
研究協力者	山崎 孝史 (Yamazaki Takashi)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	影山 穂波 (Kageyama Honami)		
研究協力者	今里 悟之 (Imazato Satoshi)		